

# 一般国道44号「根室道路」を視察

根室市議会産業経済常任委員会は11月27日、現在工事中の一般国道44号「根室道路」を視察しました。この視察には同常任委員以外の議員にも開かれており、日本共産党の鈴木一彦、橋本竜一両議員も参加しました。



根室道路の中間付近、幌茂尻川橋より温根沼IC方面をのぞむ

一般国道44号根室道路について

一般国道44号根室道路は、現道の交通事故低減及び冬期間の地吹雪等による交通傷害の解消による道路交通の定時性、安全性の向上等を目的とした温根沼IC（仮称）から根室IC（仮称）に至る延長7.1kmの一般国道のバイパス事業です（E44根室道路現場説明資料より）。

1999年度に事業化、2005年度に工事着工、本年度の開通を予定しています。10月20日には子どもたちを含む市民による「ウオーキング&お絵かきイベント」が行われました。根室道路の全体事業費は、約202億円になるそうです。

### 環境対策

根室道路で特徴的なのは、環境対策「貴重鳥類ロードキル対策」です。

野鳥観光に力を入れてる根室市にとって、貴重鳥類ロードキル、すなわち「鳥の交通事故」防

止対策は欠かせません。



などからは環境への影響を懸念する声が上がっていました。実際、道路予定地には、タンチョウの営巣地が確認されていました。根室道路には、前述したロードキル対策が施されていますが、道路の開通によって鳥類の個体数や飛来数にどのような変化が起こるのか、しっかりと検証する必要がありますと考えます。

右の写真が根室道路のロードキル対策として設置された防鳥ポールです。『この対策は、有識者の意見を踏まえ橋りょうなどの構造物の縦断方向に設置して、鳥類の飛翔高度が上がることに伴い、通行車両との衝突を防ぐ目的で施工』（前出資料より抜粋）されました。路面から高さ4.5m、幅2mで、大型のワシ類が翼を広げたときにポールに触れる長さになっています。

今後の検証が不可欠 この道路の建設が持ち上がった当時、野鳥の会

また、根室道路7.1kmに対し202億円かかっているということは、単純に計算すると1km当たり28億円以上かかることとなります。確かに交通安全対策、また流通や救急搬送など、現在よりも利便性ははかられることは確かです。しかし、「もっと身近なところにお金をかけてほしい」という声も決して少なくありません。根室道路の延長はまだ具体的になっていませんが、仮に計画が持ち上がった場合、その必要性等について、私たちは十分な議論を重ねる必要があると考えます。